

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672000058
法人名	社会福祉法人 尚徳会
事業所名	グループホーム 遊花里
所在地	鹿児島県指宿市山川岡ヶ水1211番地 (電話) 0993-35-0220
自己評価作成日	平成23年12月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年2月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・社会福祉法人が経営する特別養護老人ホームを母体とした併設施設であり、法人嘱託医・看護師による医療面の連携・協力体制がある。他に看護師による定期的な緊急時等の勉強会を行い、同一敷地内の併設事業所である、デイサービスセンターやホームヘルパーステーション、在宅介護支援センター等との連携・応援体制も整っている。
- ・買い物、ふるさと訪問、地域行事への参加等を積極的に取り入れ、地域交流の機会を多く作るようにしている。
- ・ホームの東側に農園があり、野菜など収穫し無農薬野菜をおいしく食べたり、収穫の喜びを皆で味わっている。
- ・定期的に家族に発送する「ゆうかりメール」は、個々の様子を記載し個別の便りとなっており、家族からの評判も良い。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所のほかに法人の関連する介護福祉関係のいくつかの施設があり、連携協力体制が構築され、地域に密着した支援が可能となっている。
- ・事業所は、自然豊かな丘陵地にあり、敷地も広く空間的にゆとりのあるホームである。敷地内の公園遊歩道に「あづま屋」があり、特別養護老人ホームなどの利用者や職員との語らいの場となっており、馴染みの人間関係ができています。
- ・管理者は、職員研修及び資格取得希望者に週2回の勉強会を行う等、資質や技能の向上につながる職員育成に意欲的である。
- ・職員は、明るく生き活きとしており、利用者の立場に立ったケアに努めている。また、利用者が笑顔で気さくに訪問者に話しかけてくるなど、アットホームな事業所づくりにも努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員の目の届く所に掲示し、ミーティングの時はみんなで復唱している。 また、勉強会も行いながら認知症の方の人権を尊重した基本的ケアを確認している。	理念は、玄関に掲示してある。 ミーティングで全員が唱和し、理解を深め共有している。利用者の表情も穏やかで笑顔があり、ゆっくりした雰囲気の中で過ごすケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人が主体となり、広報でアピールしている。 また、行事の時には案内文を配布する他に、デイサービスと連携してボランティアとの交流を推進している。	法人で講演会やふれあい教室を開催し、積極的に地域住民と交流している。公園清掃の参加や保育園児の訪問、中学生・高校生の介護体験、ボランティアの受け入れをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人が主体となり、家族及び地域住民を対象にした講演活動やふれあい教室を開催し、地域との繋がりを強めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、ホームの生活状況・ひやりはっと報告・地域交流行事・外部評価の結果等の報告を行い、委員からの意見を参考に、サービスの向上に役立てている。	利用者や家族代表・行政・住民代表などが参加し、定期的に会議を開催している。会議では、利用者の生活状況や事業所の現状報告をしている。質問や要望・意見交換が活発に行われ、会議の結果は家族に報告できる体制になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市のグループホーム連絡協議会への参加で情報を提供していただき、運営上の疑問点など相談している。	市の担当者とは、関連施設訪問などを通して、報告や相談等を随時伝えている。市主催のグループホームの連絡協議会で積極的な連携をとり、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・勉強会の年間計画に身体拘束廃止についてのテーマを設け話し合っている。 ・徘徊のある方については在苑確認チェック表を作成し活用している。	職員は、拘束のない自由な生活の暮らしについて勉強会を行い、理解を深めている。利用者の事故防止、リスク回避のケアも全員で話し合い、取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会の年間計画に虐待の防止についてのテーマを設け話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会のテーマにあげて、職員全員で勉強したが、依頼や相談はない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に契約書・重要事項説明書を用いて説明し、不明な点がないかお聞きし、納得していただくよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・家族からの意見が上がってきた時、必ず職員に周知、話し合いを持ち、家族への返答ができるようにしている。また玄関入口にご意見箱を設置し、意見等聞けるようにしている。</p>	<p>利用者からは、日々の関わりの中で、意見や要望を聞くように努め、家族からは面会や運営推進会議等で積極的に意見等を聞き、運営に反映するよう取り組んでいる。取り組み内容は運営推進会議等で報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>法人運営推進会議に各事業所管理者の参加を規定し、現場の意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>日頃から、管理者は職員の意見を聞くようにしている。なんでも気軽に話せる関係にあり、その都度話し合いを持っている。法人の管理者会議で職員の意見や提案を発言し、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が向上心を持って働けるよう職能評価を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・年間の研修計画を作成し、それに沿って行っている。</p> <p>・外部研修後は復命書を作成、ミーティングの中で発表し皆で共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県・地区のグループホーム連絡協議会に入会し、他施設の職員と意見交換や交流ができるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	支援センターと連携し入所希望者の家庭訪問を実施し、困っていることや不安を聞いて相談にのっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所予定者のご家族から電話や問い合わせがあった場合は、その都度丁寧に話を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談があった場合は、他事業所の管理者などと相談して必要な支援を一緒に考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今までされてきた仕事の話とか趣味でされていた花の育て方や郷土料理など、色々教えていただき毎日の生活に役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等への参加に協力を求め、年4回「ゆうかりメール」で日常生活を細かく伝え、情報を共有する事に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の理解や協力に基づき、本人宅への帰宅、馴染みの理美容院への外出等を行っている。	本人の大切にしてきた家族や友人・仲間との関係を大切に支援している。また、本人がこれまで続けてきた理美容院・墓参り・地域行事への参加等、馴染みの関係が途切れないように、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々、利用者の方に変化がある為、個々の性格を理解し、その都度見極め配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された後も、家族からの相談には入居時と同じ対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	あらゆる場面で要望を聞き、可能な限り応えている。また、必要に応じては家族より情報収集をしている。	日常のケアの中で、会話や表情から本人の思いや希望を把握している。また、利用者の嗜好調査を実施するなど、本人の望むことを家族に聞いたり職員で話し合い、確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、生活歴など家族から情報を聞いている。また、一緒に生活していく中で、少しずつ関係を築きながら色々なこととお聞きし、気づいた事の情報交換をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の一日の過ごし方や生活リズムを把握して、できる事を見極め、その方のリズムに近づけていけるように努めている。</li> <li>・居室、ホールの掃除等、一緒に行っている。</li> </ul>		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画担当者だけではなく、家族や職員の意見を参考にし計画書を作成している。</li> <li>・月1回の介護経過、3ヶ月に1回のモニタリング、6ヶ月毎の見直しを行い、計画を作成し実施している。</li> </ul>	本人や家族の意向を取り入れた計画を、家族も交えて話し合い検討している。計画は、具体的に分かりやすく、本人主体の計画になっている。常にケアを振り返る機会をつくり、計画の評価や修正をしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・気づいた事や言葉・表情等を記録し、介護計画に活かしている。 ・申し送りノートを活用し、職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制を活かし、利用者の身体状況の変化を早めに捉え、嘱託医と連携を取っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小・中学生の介護体験の受け入れや総合防災訓練を年2回行い、火災の時の初期消火・避難誘導等について分遣所の方の指導をいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・嘱託医の週2回の往診があります。また、24時間体制で連絡ができるようになっており、緊急な対応もできている。 ・家族が選ぶ医療機関がある場合は、そこに受診できるよう協力している。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。往診や緊急時24時間体制で対応している。事業所は医療機関や家族と連携を取りながら、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>事業所看護師、または併設施設看護職員と連携しながら健康管理を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報提供として看護サマリーを提出し、家族からの情報を伺ったり病院へ面会に行き情報収集をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族の面会時に、現在の状況や急変時についての家族の意向をお聞きし、支援に繋げている。</p>	<p>重度化や終末期の方針を決めている。早い段階から本人や家族と話し合いを持ち、要望を聞くようにしている。法人の関連施設や嘱託医と共にマニュアルを作成し勉強会を重ねて、事業所でできることに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応等、マニュアルを作成し勉強会やミーティング後、確認しながら実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回実施している訓練では火災だけでなく、地震・津波なども想定し行っている。</li> <li>・緊急連絡網を作成し、法人全体で年2回夜間招集訓練を行っている。</li> <li>・地区の公民館と災害時緊急避難指定施設として使用できるように申し合わせができています。</li> </ul>	<p>法人全体で、年2回夜間招集訓練を実施し、協力体制を築いている。事業所は、毎月2回消防署の指導を受け、火災や地震・津波を想定した訓練を実施している。備蓄も整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の誇りやプライバシー・自尊心を傷付けないよう声かけや対応には十分配慮し、守秘義務も周知徹底している。	居室や風呂場・トイレ等、ドアの開閉に注意して、プライバシーの確保に努めている。排泄を失敗した時の対応等、本人のプライドに配慮したケアを実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のあらゆる場面で、本人の希望を聞くようにしている。 また、完全ではないが表情や日頃の様子などから本人の思いを察して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間など、おおよその時間があるが、それらは単に目安であって、その日の体調によって個々のペースに合わせた生活をして頂けるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・理容・美容は家族と連携して本人の希望に沿った対応をしている。 ・朝の洗顔や整髪、身だしなみを整える支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・家庭菜園があり、収穫した野菜を調理して食卓にお出しして一緒に楽しく食事を摂っている。 ・食べたい物や行事等に合わせ食事内容を工夫している。	利用者の嗜好を把握し、栄養士のアドバイスをもとに食事を楽しむ支援をしている。利用者がつくった野菜と一緒に調理したり、配膳や後片付けも行っている。行事食等、気分転換できる支援にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理栄養士の指導の下、栄養管理している。</li> <li>毎日、食事摂取量と水分摂取量を記録して職員全員が情報を共有している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎食後、歯磨きの声かけを行い見守っている。</li> <li>義歯の不整合や口腔内の異常等、協力医療機関の歯科医に往診を依頼し診て貰っている。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作り、利用者一人ひとりのサインを見逃さないように努力し、声かけ誘導を行っている。	排泄チェック表を使用し、排泄パターンの把握や一人ひとりのサインをキャッチし、個別対応をしている。オムツ使用は夜間のみとし、トイレでの排泄など自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄チェック表を利用し、排泄パターンを把握し昼間の適度な運動を行っている。</li> <li>食事量・水分量を確認しながら、摂取の声かけを行い自然排便へ繋げている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご希望により入浴を行っていますが、入浴が好きでない方には声かけにも工夫して支援している。	週3回、温泉入浴を楽しめるように支援しているが、希望者は、いつでも対応できるように準備している。普通の風呂を利用できない場合は、関連施設の特殊機械浴に入るなどの入浴支援もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、夕食後はソファに腰掛け談話やテレビを一緒に見て「そろそろ寝ましょうか」と声かけしながら自然体で接している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の服薬リストを作成し、薬の説明書と一緒にファイルしており、いつでも確認できるようになっている。また、変化時は看護師指示の下、必要に応じて受診する等の体制ができている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ・居室や玄関の掃除など各自の能力に合わせた作業ができるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>アンケートや会話の中から行きたい所をお聞きし、家族の協力もあり外出を行っている。 (墓参り・運動会・花見・ドライブ)</p>	<p>事業所の敷地は広く、日常的に散歩している。敷地内の遊歩道にある「あづま屋」で、よく顔馴染み同士で交流している。買い物や自宅訪問・神社参拝等、戸外に出かける取り組みもしている。正月は全員で初詣に出かける支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の希望・同意により施設で管理しているが、買物など出かけた時はレジで支払いをしていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族からの電話を取り次いだり、自ら電話を利用される方もいる。</li> <li>・家族から荷物が届いたとき等、お手紙を書かれる方もいる。</li> </ul>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の物を飾ったり、明るさや光、音などにも配慮している。また、台所の音やにおいも感じながら、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>ホールは明るく静かで、利用者は畳やソファで過ごしている。テーブルでは、個別にぬりえをしたり、ひな祭りの作品を数人で作成している。ホールで過ごす時間が多いため楽しくくつろげる工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>広いテーブルを囲んで、利用者が全員と交流できるようになっており、ホール内のソファに自分の居場所を作り、穏やかに過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に親しんだ物品を居室に持ち込んでいただくよう入居時から働きかけている。</p>	<p>使い慣れたタンスやソファの持ち込みや家族の写真・自分の作品・誕生日のプレゼント等、好みのものが飾られている。利用者の個性が活かされて、自分の居場所を心地良く過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレの場所が解らない方については、大きく目立つものを入口の所に飾り混乱を防いでいる。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない